

かなみ知恵の和館 来館者 20 万人を達成



▲くす玉を割って来館者 20 万人をお祝いしました

8月1日、かなみ知恵の和館の来館者が20万人を達成し、記念セレモニーが行われました。記念すべき20万人目の来館者は、清水町在住の鈴木慎司さん、友希さん、陽葵さんの家族で、関係者とともにくす玉を割り、花束などの記念品を手渡し、来館者20万人の達成を祝いました。鈴木さん家族は、今回が2回目の来館で、「函南町は子育てに力を入れている印象がある。水遊びもできるので夏の間にまた知恵の和館に来たい。」と笑顔で話してくれました。

8月1日～8月31日は道路ふれあい月間 道路愛護事業で整備

8月1日～8月31日は道路ふれあい月間です。

8月1日、町内の県道や町道などの道路沿い、のり面の整備が行われました。

道路愛護事業には、町内の建設業者や水道業者、建設コンサルタント業者、町職員など約100人が参加しました。

同事業では、自分たちの背たけまで伸びた草木などを刈ったり、道路脇に捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾ったりして道路沿いの整備を行いました。



▲町内の各所の草刈りなどを行いました

親子で楽しむイベント満載 夏休みわくわくまつりメインイベント



▲親子でコミュニケーションをとりながら楽しみました

8月3日、かなみ知恵の和館で夏休みわくわくまつりメインイベントが行われました。未就園児から小学生までの親子と一緒に遊んで、学んで、楽しんでもらえるようにと企画をし、運動あそびや人形劇、工作などを楽しみました。きのいい羊達による「親子で遊ぼう」では、ストローで笛、新聞紙でフリスビーを親子で協力しながら作成し、交流を深めました。参加した保護者からは、「自分が子どもの頃はこのようなイベントが無かったので楽しかった。」などの感想が聞こえました。

7月11日～7月20日 夏の交通安全県民運動



▲一斉街頭広報で交通安全を呼びかけました

7月16日、函南町役場前交差点で夏の交通安全県民運動街頭広報が行われました。同街頭広報には、町職員、三島警察署員、交通指導員など約50人が参加し、特に通行量の多い熱函道路の交差点を重点的に行われました。「運転手の携帯電話は禁止」、「後部座席もシートベルトを」などと書かれたのぼり旗を手にし、信号待ちのドライバーへ啓発チラシと冷却シートの配布をし、町内で多発している追突事故の防止のために注意喚起しました。

姉妹都市カーマン市へ教育研修 8人の中学生が異文化交流



▲中学生を代表して抱負を話す今井志保さん（写真右）

8月1日～8月11日、函南町都市交流協会主催により姉妹都市アメリカ・カリフォルニア州・カーマン市へ教育研修訪問が行われました。カーマン市へは、都市交流協会の役員2人と町内の中学生8人が訪れ、現地の農業高校の視察、ホストファミリー宅へのホームステイなどを通じて交流を図りました。8月21日には、帰国報告会が行われ、異文化に触れての感想や言葉を越えた交流の喜びなどをそれぞれ話してくれました。

来光川・柿沢川を観察 水生生物観察会



▲石の裏側をこすって水生生物を採取する参加者

8月1日、柿沢川と来光川で水生生物観察会が行われました。夏休みの自由研究にもなる同観察会に小学4年生～6年生と保護者など25人が参加し、身近な川に生息する生き物を捕まえて観察することでその川の水質を判断しました。児童たちは、川に入り石の裏側をこすって生物を集め、約1時間できれいな川にしか生息しないカワゲラやヒラタカゲロウなどが採取されました。その後に指標生物の数を集計し水質を判定しました。